

平成28年度  
南国安芸道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

# 高田遺跡

現地説明会資料



Ⅵ区 遺構を検出した様子

日時 記者発表 2016年11月25日(金) 14時～15時  
現地説明会 2016年11月27日(日) 10時～11時  
場所 高田遺跡発掘調査現場(香南市野市町下井)

高知県教育委員会  
(公財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

### 1. 調査の目的

今回の発掘調査は国土交通省(四国地方整備局土佐国道事務所)が計画している南国安芸道路工事区間内に所在する高田遺跡について工事で影響を受ける部分を事前に発掘調査し、遺跡の内容を記録保存するとともに地域の歴史の復元に役立てようとするものです。

### 2. 調査対象地・調査面積

香南市野市町下井(約5,700㎡)

### 3. 調査期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日(予定)

### 4. 調査体制

調査委託者 国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所

調査主体 高知県教育委員会

調査実施機関 公益財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター



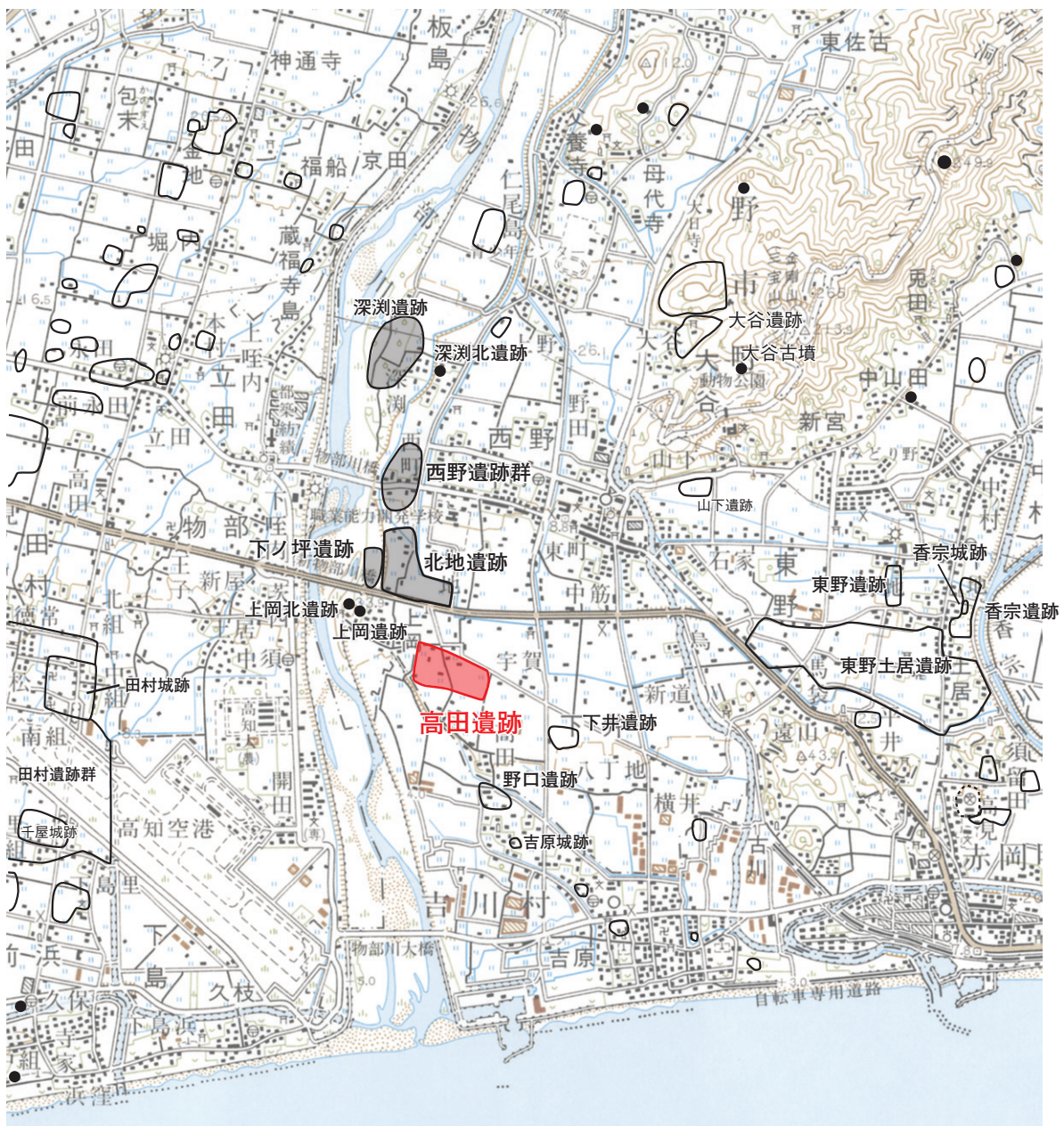
■ H27年度調査範囲      ■ H28年度調査予定範囲

第1図 調査範囲図(S=1/5000)



## 5. 高田遺跡について

物部川の河口近くの左岸に位置した遺跡で、平成27年度の発掘調査では、弥生時代の竪穴建物跡7軒と土器棺2基、古代では掘立柱建物跡10棟の他、土坑や溝跡などが確認されました。遺物では円面硯(奈良時代)や緑釉・灰釉陶器などが出土し、緑釉陶器のなかには、当時希少品であった猿投(愛知県)の製品が含まれており、大変注目されました。発見された建物群は一般集落ではなく、地域の役所あるいは有力者に関連したものであったと考えられます。高田遺跡の北、物部川沿いには下ノ坪遺跡や西野遺跡群、深淵遺跡などの弥生時代から古代にかけて営まれた遺跡が位置しています。



第2図 高田遺跡と周辺の主な遺跡

## 6. 調査成果

今年度は昨年度調査区の東側にあたる調査区(Ⅳ区からⅦ区)の調査を実施しており、現在までに弥生時代の土器棺と古代と考えられる掘立柱建物跡、土坑、ピット群を検出することができました。遺物は、土師器、須恵器、土師質土器など古代(奈良・平安時代)を中心としたものが出土しており、昨年度の調査区より東側にも同時期の遺構の広がりを確認することができました。

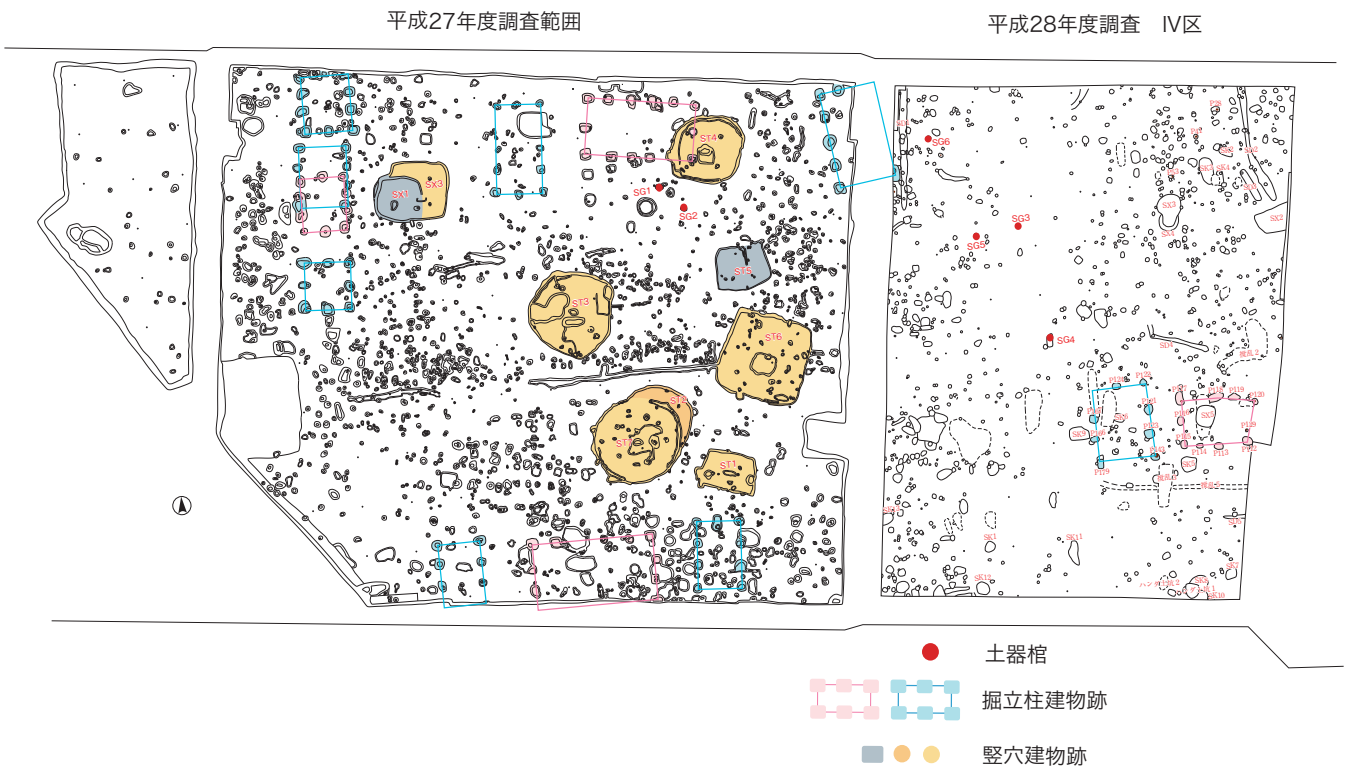
### (1) 弥生時代

土器棺4基を確認しました。昨年確認された竪穴建物跡より少し離れた場所で見つっています。昨年確認された土器棺2基は竪穴建物跡に近接した場所にあることから、埋葬場所に違いがみられます。今回の調査では竪穴建物跡の確認はできませんでしたが、調査区の南側と西側は段丘崖という地形から考えると、調査地は集落の南東部に該当するものと考えられます。

### (2) 古代

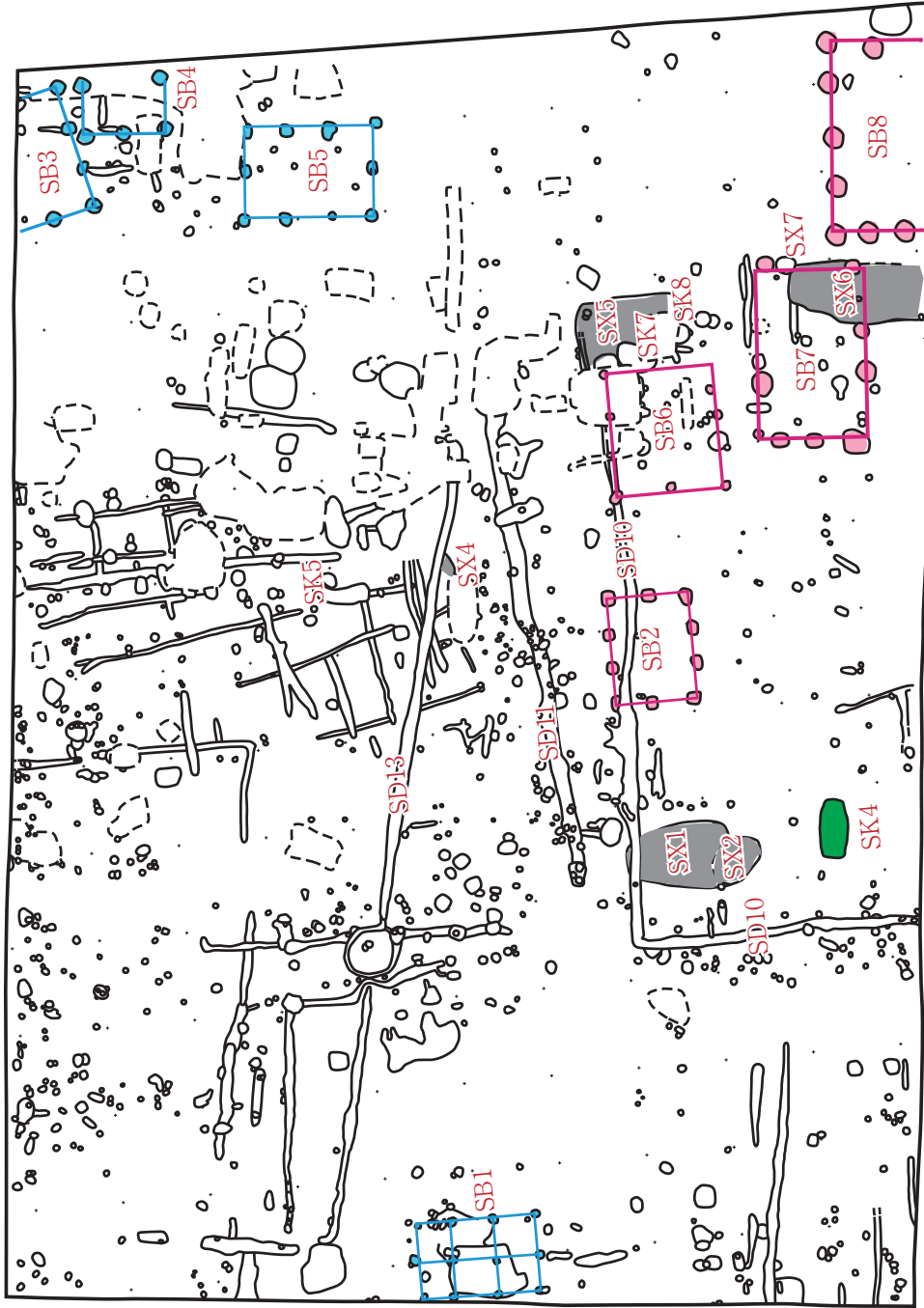
掘立柱建物跡は現在までに8棟を確認することができました。時期などの詳細はこれからですが、昨年の調査結果から考えると古代(奈良・平安時代)を中心とする時期が考えられます。

またⅥ区では須恵器の瓶に土師質土器杯が伴った状態で出土した土坑墓と考えられる遺構、さらにその東方には焼土と多数の土器を廃棄した土坑状の遺構が確認されています。これら廃棄された土器の中には赤色塗彩を施した土師器や須恵器がみられ、概ね奈良時代に位置づけられるものです。





VI区



-  掘立柱建物 (SB)
-  土坑 (SK)
-  性格不明遺構 (SX)

第5図 VI区遺構配置図



IV区 遺構の完掘状態



IV区 土器棺の出土状態



IV区 掘立柱建物跡の様子



VI区 須恵器瓶と土師質土器を伴った土坑



VI区 土坑出土の須恵器瓶と土師質土器杯



VI区 SX6遺物出土状態



VI区 SX6出土の鉄製紡錘車



VI区 SX6出土の刀子